

ISEP インターン体験記

ISEPとの出会い

自然エネルギーって、なんか面白いかも。最初にそう思ったのは学部2年になった頃でした。元々、人間が自然と調和して生きていくにはどうすればいいかという問いが自身の重要なテーマであり、自然エネルギーはその一つの鍵となるような予感がしたのです。ISEPを知ったのはそれから1年以上経った後、自然エネルギーに本格的にハマりだした頃のこと。地域主導を基本とする事業推進のアプローチに惹かれ、インターンをスタートさせました。

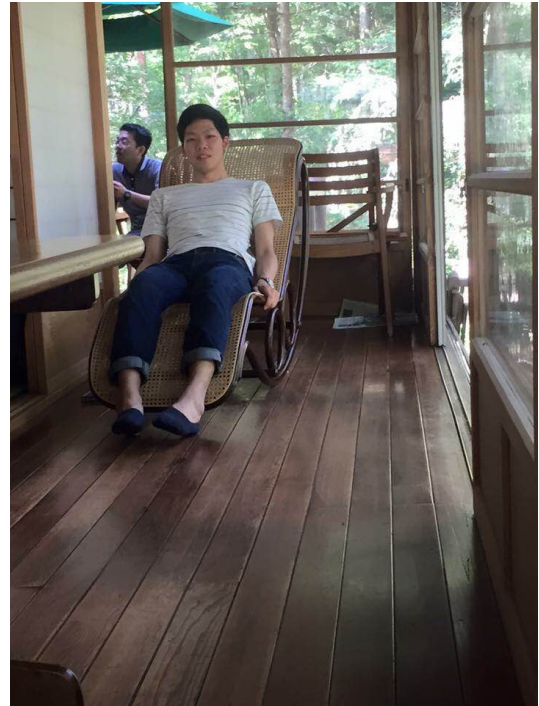
主な業務内容

インターン中は、主に農山村における自然エネルギー利用の推進に関するプロジェクトに携わりました。自身の興味関心とぴったり合致するテーマであったこともあり、やればやるほど自然エネルギーの面白さを感じ、のめり込んでいったことを覚えています。僕は、ISEPのせいで自然エネルギーの世界から抜けられなくなったと思っています（笑）。それはさておき、実際に自然エネルギー事業に取り組んでいる方からお話を伺い、事例紹介としてまとめる作業は非常にやりがいがありましたし、現場のリアリティを知る上でもこれ以上ないほどの経験を積ませて頂いたと思っています。

また、ISEPでほとんどのインターンが経験するのがイベントの運営補佐ですが、これも非常に学びの多いものでした。一つのシンポジウムが開催されるまでには、その裏にいくつもの地道な作業が積み重なっています。これを肌で感じられたことも、学生の身にして社会とのつながりを意識する瞬間であり、貴重な経験でした。そして何よりも、イベントのたびに繰り広げられる各分野の最先端のお話が知的好奇心を刺激し、学びへのモチベーションを常に高く保ってくれました。

ISEPでのインターンを考えている方へ

今これを読んでいるあなたは、少なからずISEPに関心を持ってここにたどり着いているはず。それなら、もうインターンに応募してしまえばいいと思います（笑）。大学やアルバイトが忙しくて…という方も、まずは相談してみましょう。僕自身、大学院の入試前や卒論の時期はかなり都合を配慮していただきました。



東京農工大学農学部 地域生態システム
学科 4年 高橋 叶
インターン期間 2015.3-2016.3

ISEPでのインターンは、熱意と工夫次第でいくらでも、本気で上限なしに実り多きものになります。いくつもの地域プロジェクトや政策提言・研究の実績を積み上げてきたISEPスタッフの皆様や、個性的で熱意にあふれたインターンの仲間達、そして日本全国、さらには世界各地に散らばる自然エネルギー業界のパイオニア達との出会いは、間違いなく一生の財産となることでしょう。面白いことに、「ISEPでインターンをしています!」と言えればけっこう興味を持ってもらえて、すごい人とお話しできたりするのです(笑)。僕にとって、ISEPでの日々はこれまでの人生で最も色濃く、価値観を揺さぶられ続けた1年間でした。あなたにとってもそうなるかは分かりません。でも、もし少しでも環境やエネルギーの問題に関心があって、新しい学びや刺激を求めているのであれば、思い切って一歩踏み出してみてもいいのではないでしょうか?